

基本情報

需要家	糸井商事株式会社
事業の実施場所	群馬県佐波郡玉村町
施設の名称 (需要家の法人名+建物の名称)	糸井商事株式会社 玉村工場
太陽光発電設備の導入方法	自己所有
導入設備	太陽光発電設備：292.80kW（太陽光パネルの出力） 250.00kW（PCSの定格出力） 定置用蓄電池：193.5kWh（蓄電容量）
稼働開始時期	2025年2月から発電開始
総事業費（税抜）	69,140,000円
平均の年間CO ₂ 削減率（削減量）	28.20%（92.10t-CO ₂ /年）

事業目的・概要等

当社の工場屋根に自家消費型の太陽光発電設備を設置し、工場全体でのCO₂削減に加え、停電時の電力使用が可能となる。

本事業では、PPA事業者による初期費用ゼロでの自家消費型の太陽光発電設備・蓄電池の導入支援等を通じて太陽光発電設備・蓄電池の価格低減を促進しながらストレージバリティの達成を目指すものとなっています。

我が国の目指している再生可能エネルギーの活用等によるCO₂排出量を削減し環境に配慮した事業への貢献とともに、工場内の防災性強化を図る。

今後の再エネ導入に向けた取り組み

当社は昭和21年に製鋼原料・非鉄スクラップの取扱い業者から創業しており、現在は「循環する社会をカタチに」をキーワードに複合的に展開している。

環境配慮型ビジネスとして群馬県よりSDGsぐんまビジネスプラクティスの認証・登録をし、環境対策への取組をHPでも公開している。

製紙会社や製鉄会社、セメント会社などの生産活動には化石燃料が大量に消費されている今、当社では廃プラスチックや紙屑・木くず・繊維くずを原料とした固形燃料（RPF）の製造を計画しており、その発熱量は石炭と比較してCO₂排出量を2/3に抑えることができる。

今後も、このような環境に配慮した事業活動を続け、持続可能な社会づくりに貢献していく。

導入施設の外観



主な導入設備



太陽光パネル



定置用蓄電池



特定負荷盤